

探究的な学びの充実に向けた高大連携について

オーガナイザー：琉球大学教育学部教授 濱田栄作 会場：文系講義棟112教室

【目的】

学習領域が特定の教科や科目等にとどまらない「総合的な探究の時間」を効果的に進めていくには、学校を挙げた協力体制が不可欠です。また、今まで以上に地域や外部組織との連携も重要となります。

琉球大学と沖縄県教育委員会は、沖縄県内の高校生が探究の学びの成果を発表し合う場として、「沖縄未来社会創生シンポジウム；Okinawa Future Society Initiative Symposium (OFSIS)」(主催：琉球大学、共催：沖縄県教育委員会、後援：内閣府沖縄総合事務局)を、令和元年度から開催しています。三年目となる今年度は、貧困・平和・環境・災害・観光・文化など様々な社会的な課題をテーマにした227件もの発表が県内11の高校からあり、学校を超えた生徒の交流の場となっています。

本ワークショップでは、シンポジウムにも参加いただいている離島を含む県内4校の先生から「総合的な探究の時間」の取組事例を紹介いただき、現状と課題を共有しますとともに、探究的な学びにおける高校と大学、そして企業・団体等との連携のあり方について討論します。

【プログラム】

1. ワークショップ目的説明 (琉球大学教育学部教授 濱田栄作)

2. 「総合的な探究の時間」に関する事例報告 (各15分)

- ① 沖縄県立球陽高等学校
教諭 中村 元紀 先生
- ② 沖縄県立宜野湾高等学校
教諭 與座 秀哲 先生
- ③ 沖縄県立コザ高等学校
教諭 與那嶺 創 先生
- ④ 沖縄県立八重山高等学校
教諭 與那覇 景 先生

3. 総合討論

※本ワークショップは、宇流麻学術研究助成基金 及び 琉球大学戦略的研究経費 (地域協働プロジェクト推進事業) の助成を受けています。